



県下初！
県下2校！

「タテ持ち」方式への挑戦！

教科指導の
充実に向けて

No.1

今年度より始まっている、落合中学校と鏡野中学校の数学科「タテ持ち」方式の実践を紹介します。

Q1「タテ持ち」方式って何ですか。

○一人の教員が複数学年の教科指導を担当することです。教科の全教員が複数の学年にかかわります。

Q3どのような持ち方が考えられますか。

○「タテ持ち」の例としては、次のようなパターンが考えられます。

【経験の浅い先生を含む例】

いきなり3学年を担当しないパターンもあります。

1年生	1組	2組	3組	4組
2年生	1組	2組	3組	4組
3年生	1組	2組	3組	4組

【経験ある先生の場合例】

1年生	1組	2組	3組	4組
2年生	1組	2組	3組	4組
3年生	1組	2組	3組	4組

A先生

B先生

C先生

Q2どのような効果が期待できますか。

【学校や教員にとっての期待される効果】

- 教科の専門性が高まります。
 - 定期的な教科会や日常的な教科の会話が 증가します。
 - 最短1年間で、3年間の指導事項や系統性について理解が深まります。
 - 若手教員が先輩の授業手法を学ぶ機会が増えます。(OJT)
- 個人のよさが「組織のよさ」に広がります。
 - 教科の専門性や指導方法、経験等の財産が個人から組織のものへと変わります。
- 学校全体で生徒を育成する意識が高まります。
 - 同学年と複数学年の2方向の視点を意識しやすくなります。

【生徒にとっての期待される効果】

- 学びが深まります。
 - どの先生でも基本の流れが大きく変わらないため、安心して授業に取り組みます。また、系統的に学ぶことができます。
- 質問や相談がしやすくなります。
 - 多くの教員が同学年にかかわるため、より多くの先生に、質問や困り感を相談しやすくなります。



落合中学校の「タテ持ち」方式！

教科指導の 充実に向けて

No.2

落合中学校数学科「タテ持ち」方式の実践紹介！【第一弾】

Q1どのような持ち方ですか。

○一人の教員が複数学年の教科指導を担当するように時間割を組んでいます。(2, 3年少人数)

1年生	1組	2組	3組	4組	
2年生	1組	2組	3組		
(少人数)	1組	2組	3組		
3年生	1組	2組	3組	4組	
(少人数)	1組	2組	3組	4組	
	A先生	B先生	C先生	D先生	E先生
1年生	8	4		4	
2年生	3	6	6	3	
3年生		4	8	8	12

Q2教科会の時間や内容はどうか。

- 毎週水曜日の5時間目に設定し、教科アドバイザー(校内の教科会推進教員)と数学科主任が中心になり教科会を運営します。
- 必要に応じて日常的に教科に関する会話や相談を行っています。
- 主に授業進度や週の授業計画(めあて・まとめ・期待する振り返りの姿)等を確認していきます。
- 年度初めは、「評価」「振り返り」「小テスト・単元テスト」等、指導方針の共有を行いました。



落合中のここがすごい！！

授業で「身につけさせたい力」を、全員で協議・共有して授業を行っています！



- 毎時間の「めあて」「まとめ」「期待する振り返りの姿」を下のような一覧表を利用し、協議・共有しています。

※落合中教科会資料

学年	時間	めあてとまとめ	期待する振り返り	教科書・ポイント	宿題
2	11	めあて: 単項式の乗法と除法ができる。	A 指数を含む乗法、分数の除法の計算ができた。	P16~17 ポイント 指数をもう一度復習 逆数にした際の文字の位置	P17 問3問4サ
		まとめ: 乗法・・・係数同士、文字同士をかける。 除法・・・乗法に直し、計算する。 ポイント!! 逆数にする。	B 単項式の乗法と除法の計算ができた。 C 指数を含まない乗法の計算ができた。		
12		めあて: 乗法と除法の混じった計算ができる。	A 文字を使って考えることで文字を使うことの良さを理解することができた。(訂正の約分を戻す) (訂正の約分を戻す)	P17 問3問4から ポイント 計算の順番 指数の約分	サガ4
		まとめ: 乗除の混じった計算は分数の形にしてから約分する。	B 乗法と除法の混じった計算ができた。 C 指数の約分をすることができた。		

- 「めあてはこれでよい?」「〇〇を付け加えよう」「生徒はここをよく間違える」等、協議することで指導観が深まっています。

【一覧表記入にあたって】

- ・一覧表は、教科会の始まるまでに、各学年のチーフが記入しておきます。
- ・作成時には、先輩教員が相談にのることが頻繁にあります。
- ・できるだけ、「学習指導要領解説」を活用する方針です。

今年度の実績を記録し、振り返ることで、今後の単元計画や評価計画に役立てます！



鏡野中学校の「タテ持ち」方式！

No.3

教科指導の 充実に向けて

鏡野中学校数学科「タテ持ち」方式の実践紹介！【第一弾】

Q1どのような持ち方ですか。

○一人の教員が**複数学年の教科指導を担当する**ように時間割を組んでいます。（全学年TT）

1年生 (TT)	1組	2組	3組	4組		
2年生 (TT)	1組	2組	3組			
3年生 (TT)	1組	2組	3組	4組		
時間数	A先生	B先生	C先生	D先生	E先生	F先生
1年生	12	8		4	4	4
2年生	3		6	3	3	3
3年生		8	8	4	8	4

Q2教科会の時間や内容はどうか。

- 毎週金曜日の1時間目に設定し、教科アドバイザー（校内の教科会推進教員）が中心になり教科会を運営します。豊富な経験を持つ教員の貴重な意見が交流されます。
- 必要に応じて日常的に**教科に関する会話や相談**を行っています。
- 主に1週間の**授業の振り返り**（よかった点・課題・改善点）等を確認していきます。
- 年度初めは、「授業の流れ」「課題の出し方」「評価」「指導の重点」等、**指導方針の共有**を行いました。

鏡野中のここがすごい！！

協議や意見交換を通して、教科の専門性や指導方法等が、「**個人のよさ**」から「**組織のよさ**」へと変わっています！



1週間の**授業を振り返る**ことで、さらに高いレベルの授業づくりに挑戦しています。

良かった点…教科会を頻繁に行うことで、教科会の活性化を行うことができた。また、日々のなかで、数学科の教員同士が「役割分担をどうするか?」、「どういうふう^にに指導するか?」等の会話ができた。先生も積極的に先輩教師に質問するなど、日常的なOJTができていた。

良かった点…いろいろな先生の授業を見ることができた。授業をしている時に補足説明をしてもらえる。いろいろなアドバイスをしてもらえた。

改善点…**授業プリントに番号をつける**。生徒が問題を前^で書いて説明する。分かっている生徒が分からない生徒に生徒の言葉で説明できるようにする。授業のまとめは生徒の言葉でさせる。また、その授業で良かったことを評価してやる。bを筆記体で書くのではなくブロック体で書くなど、数学教員のなかで共有する。

教師が生徒に「何を伝えたいのか?」という思いをもって指導していくことが大切である。そして、その伝えたいことを生徒にしっかり意識させる。

・1年生の授業…**正負の大小→小さい順**に書くように指導（数直線の順）を統一する。

・ICTを利用するときは、できるだけ大きく見やすく表示する。T2は確認する。

③**目標とまとめを一覧表にまとめていく**。（来年度につなげるため）

・1年生の授業で「借金」「財産」の言葉が先行しているが、「マイナス」、「プラス」という言葉も必ず付け加えておきたい。

②1年生の授業でトランプゲームをするときに、神経衰弱のときは「3枚で0にするためには、次に何がたらいいか」、ババ抜き^のときは「どのようにしたら5枚の合計が計算できるか」を班の中で共有する声かけをすることが大切。

【教科会充実のための工夫】

※鏡野中教科会記録の抜粋

- ・振り返りを**事前に各自記入**しておきます。これにより、協議時間の確保と全員の意見交流を目指しています。



教科会や毎時間の授業が「**OJTの場**」となっています！